

授 業 科 目	臨床神経学		
教 育 内 容	専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	
担 当 教 員	中村仁洋 和田真 塚本康司		
学 年	2	単 位 数	1
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 15 時間

■ 授 業 概 要			
<p>神経内科疾患では、脳・神経各部の働きと神経路を理解し、障害部位と症候との関連性を理解することが重要である。神経内科学は現代のリハビリテーション医学を支える重要な学問体系であり、これを背景として神経系の機能解剖から神経・筋疾患の病態生理、診断、治療の基礎知識を学ぶ。</p>			
■ 到 達 目 標			
<p>1) 運動や感覚にかかわる神経機能解剖学を習得する 2) 神経の障害部位と臨床像を関連付けて説明できる 3) 代表的な神経・筋疾患の病態と機能障害について説明できる</p>			
■ 授 業 内 容			
第 1 回	総論／解剖（脳・脊髄・末梢神経・血管・脳脊髄液）		
第 2 回	総論／生理（反射・麻痺・運動制御）		
第 3 回	総論／診断・補助検査		
第 4 回	脳血管障害Ⅰ・Ⅱ 診断・治療・リハビリテーション		
第 5 回	錐体外路疾患、小脳疾患 （パーキンソン病・脊髄小脳失調症）		
第 6 回	運動ニューロン疾患、末梢神経・筋疾患 （筋萎縮性側索硬化症・ギランバレー症候群・筋ジストロフィー）		
第 7 回	機能的疾患、外科的疾患 てんかん・頭痛・外傷性脳損傷・脳腫瘍		
第 8 回	脱髄性疾患、認知症・高次脳機能障害 多発性硬化症・アルツハイマー病など		
■ 評 価 方 法			
<p>筆記試験を実施して評価する。 筆記試験 100%</p>			
■ 教 科 書			
「神経内科学テキスト（江藤文夫・飯島節）」南江堂			
■ 留 意 事 項 ・ そ の 他			
<p><担当教員の実務経験> 本リハビリテーションセンター病院および研究所の医師を中心に講義を担当。</p>			